

施 策 : 134 薬物乱用防止等と医薬品の安全確保
基本事業 : 13401 薬物乱用防止対策の推進

主な取組内容

・ 民間団体、学校、市町等の関係機関が連携して、また協力団体をさらに拡大するなどにより地域の実情に応じた薬物乱用防止に関する啓発活動を行うとともに、再乱用防止対策や取り扱う施設の監視指導などに取り組みます。

1 薬物乱用防止対策

(1) 麻薬等関係施設数

(平成24年度)

| | 施 設 数 | 監 視 数 |
|-------------|-------|-------|
| 麻薬卸売業者 | 3 | 6 |
| 麻薬小売業者 | 67 | 38 |
| 麻薬診療施設（病院） | 21 | 32 |
| 麻薬診療施設（診療所） | 110 | 4 |
| 麻薬研究者 | 17 | 5 |
| 大麻研究者 | 1 | 1 |
| 向精神薬試験研究施設 | 4 | 2 |
| 覚せい剤研究者 | 2 | 1 |
| 覚せい剤原料取扱者 | 7 | 10 |
| 計 | 232 | 99 |

(2) 県民参加によるけしクリーンアップ事業

(平成24年4月1日～6月30日まで)

けしの除去活動（除去本数）

セティゲルム種 6, 630本、ソムニフェルム種 0本

(3) 街頭啓発活動

津地区薬物乱用防止指導者協議会、薬物乱用防止啓発団体、他関係機関の協力を得て管内中高生を対象として薬物乱用防止を呼びかける街頭キャンペーンを実施しました。

ア 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動

日 時：平成24年 6月21日（木曜）7時30分～

場 所：近鉄津新町駅前

参加者数：49名 啓発対象人数 約2,500名

イ 「麻薬・覚せい剤乱用防止運動」普及運動

日 時：平成24年10月18日（木曜）7時30分～

場 所：JR津駅前（東口）及び近鉄津駅前（西口）

参加者数：60名 啓発対象人数 約2,000名

(4) 薬物乱用防止教室の開催

近年、新聞などのメディアでは薬物乱用に関する報道が増え、薬物問題は身近になってきています。管内小・中学生に対して薬物乱用防止啓発団体が実施する薬物乱用防止教室の開催要望は年々増加しています。それ以外に個別に要望のある機関に対しては保健所で薬物乱用防止教室を実施し、薬物の恐ろしさと断る勇気をもつことを啓発しています。

日 時：平成24年10月1日（月曜）

場 所：津高等学校

参加者数：生徒 360名 教員 14名